

令和5年度 決算説明資料

令和6年10月10日

教育委員会

目 次

	頁
1 いじめの認知件数及び対応状況について . . .	1
2 いじめの重大事態について . . .	4
3 不登校児童生徒数について . . .	6
4 不登校生徒の進路について . . .	7
5 なごや子ども応援委員会の相談等対応件数について . . .	8
6 校内の教室以外の居場所づくりにおける環境整備について . . .	9
7 校内の教室以外の居場所の利用状況及び担当教員への研修について . . .	10
8 現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容について . . .	12
9 小学校における分団登校時の班編成について . . .	15
10 学校における個人情報の紛失等について . . .	16
11 通学路の安全対策について . . .	18
12 登下校中の事故について . . .	20
13 市立幼稚園の取組みについて . . .	21
14 小学校における新たな運動・文化活動の実施にかかる児童アンケートの結果について . . .	22
15 図書館の個人貸出実績の推移について . . .	25

1 いじめの認知件数及び対応状況について

(1) いじめの認知件数

(単位：件)

区 分	4年度	5年度	差 引
小 学 校	6, 0 8 0	7, 6 0 6	1, 5 2 6
中 学 校	1, 4 7 3	1, 6 8 7	2 1 4
高 等 学 校	6 6	7 5	9
特別支援学校	1 0	1 6	6
計	7, 6 2 9	9, 3 8 4	1, 7 5 5

(2) いじめの加害児童生徒への対応

(単位：件)

区 分		4 年度	5 年度
児 童 生 徒	スクールカウンセラー等の相談員 がカウンセリングを実施	2 8 8	2 7 2
	校長、教頭による指導	1 0 3	9 9
	別室で授業等を実施	2 5	3 3
	年度途中で学級替えを実施	1	1
	退学・転学	1	1
	自宅学習・自宅謹慎	1	3
	保護者への報告	5, 1 3 9	6, 2 3 4
	いじめの被害児童生徒やその保護 者に対する謝罪の指導	4, 8 3 1	5, 8 7 8
児 童 生 徒 保 護 者	警察等の刑事司法機関等との連携	3 7	3 9
	児童相談所等の福祉機関等との連 携	1 9	2 2
	病院等の医療機関等との連携	1 8	5
	その他の専門的な関係機関との連 携	4 4	5 3
	地域の人材や団体等との連携	1 3	2 9

(注) 複数の区分に該当する場合は、それぞれに計上した。

(3) いじめの被害児童生徒への対応

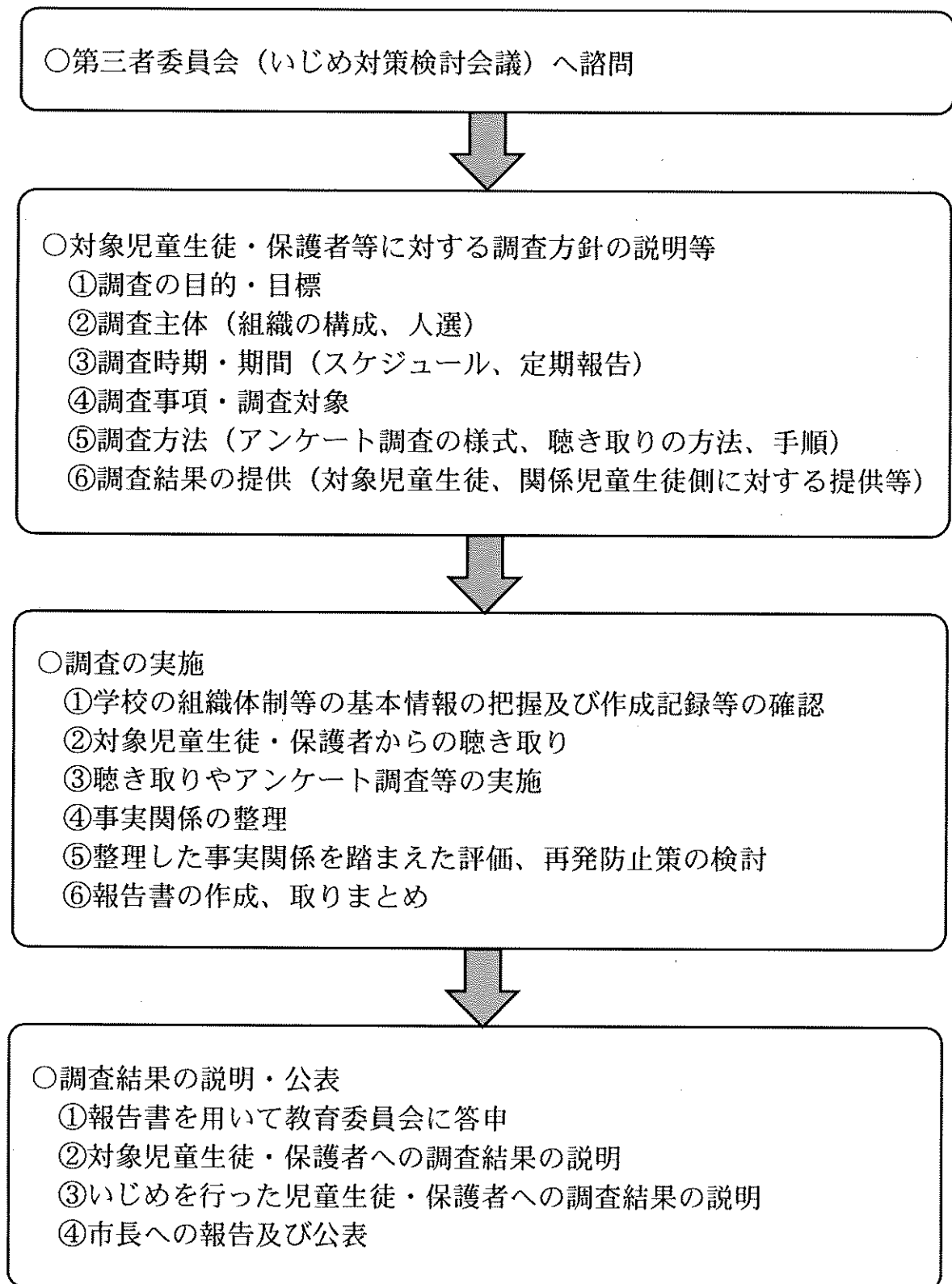
(単位：件)

区 分		4年度	5年度
児 童 生 徒	スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを実施	7 0 6	9 3 0
	別室の提供や常時教職員が付く等して、心身の安全を確保	1, 1 2 1	9 8 3
	緊急避難として欠席	8 3	7 9
	学級担任や他の教職員が家庭訪問を実施	6 4 6	6 4 8
	教育委員会と連携	1 5 0	1 1 7
児 童 生 徒 保 護 者	児童相談所等の関係機関と連携	1 6 2	1 9 6

(注) 複数の区分に該当する場合は、それぞれに計上した。

2 いじめの重大事態について

(1) 第三者委員会へ諮問した後の流れ



(2) 件数

(単位：件)

区 分	第1号	第2号	計
小学校	7	11	18
中学校	5	12	17
計	12	23	35

(注1) 第1号は、いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。」に該当するものを掲げた。

(注2) 第2号は、いじめ防止対策推進法第28条第1項第2号「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」に該当するものを掲げた。

3 不登校児童生徒数について

(単位：人、％)

区 分		4年度	5年度	差 引
小 学 校	全 児 童 数	1 1 0, 2 3 3	1 0 9, 0 9 6	△1, 1 3 7
	不登校児童数	1, 8 4 5	2, 4 8 0	6 3 5
	割 合	1. 6 7	2. 2 7	0. 6 0
中 学 校	全 生 徒 数	5 0, 5 5 2	5 0, 4 9 7	△5 5
	不登校生徒数	3, 1 0 8	3, 4 0 8	3 0 0
	割 合	6. 1 5	6. 7 5	0. 6 0
高 等 学 校	全 生 徒 数	1 1, 8 9 4	1 1, 9 1 7	2 3
	不登校生徒数	2 9 1	4 2 2	1 3 1
	割 合	2. 4 5	3. 5 4	1. 0 9

(注1) 全児童数及び全生徒数は、各年度5月1日現在の数値を掲げた。

(注2) 不登校児童数及び不登校生徒数は、「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における令和4年度の数値及び令和5年度の速報値を掲げた。

4 不登校生徒の進路について

(単位：人、％)

区 分			人 数	割 合
全日制高等学校	公立	県内	1 0 2	8. 2
		県外	4	0. 3
	私立	県内	6 4	5. 2
		県外	3	0. 2
定時制高等学校	公立	昼間	8 3	6. 7
		夜間	7 9	6. 4
	私立		—	—
通信制高等学校	公立		8 6	6. 9
	私立		4 4 0	3 5. 5
専修学校・各種学校・職業訓練校			2 0 2	1 6. 3
特別支援学校			1 8	1. 5
就職			3 6	2. 9
家事手伝い			1 0 4	8. 4
その他			1 7	1. 4
計			1, 2 3 8	1 0 0. 0

(注1) 令和5年度に市立中学校を卒業した不登校生徒の数値を掲げた。

(注2) 割合は、小数第1位未満を四捨五入しているため、計の欄において一致しない。

5 なごや子ども応援委員会の相談等対応件数について

(単位：件)

区 分	4年度	5年度
不 登 校	16,646	15,551
いじめ問題 (いじめ)	654	1,000
暴力行為	29	231
児童虐待 (虐待)	657	1,214
友人関係	1,987	3,312
貧困の問題	48	96
ヤングケアラー		212
非行・不良行為 (非行)	145	387
家庭環境 (家庭の問題)	4,556	5,295
教職員との関係		527
教職員の指導	116	
心身の健康・保健 (精神的不安、病気けが)	10,062	9,165
学業・進路 (進路関係、学習の問題)	979	1,127
発達障害等 (発達障害)	2,713	3,618
学校不適応	2,265	
そ の 他	2,033	1,148
計	42,890	42,883

(注) 令和5年度より文部科学省の集計区分に統一したことに伴い、名称が変更になった区分については、令和4年度の名称を()内に掲げた。

6 校内の教室以外の居場所づくりにおける環境整備について

(1) 執行率

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	執行率
新規校（21校）	8,400	7,986	95.1
継続校（30校）	3,000	2,772	92.4
計	11,400	10,758	94.4

(2) 主な執行内容

区 分	内 容
需 用 費	○時計、タイルカーペット、観葉植物、CDラジカセ、サーキュレーター ○ボードゲーム、カードゲーム、折り紙、塗り絵、バランスボール、バドミントンラケット ○補助教材、レターケース、フラットファイル
備品購入費	○机、パーテーション、ロッカー、カーテン、シューズボックス、モニター ○ソファ、ビーズクッション、ユニット畳、座卓、空気清浄機 ○書籍、図鑑、学習漫画

7 校内の教室以外の居場所の利用状況及び担当教員への研修について

(1) 利用状況

(単位：人)

区 分	人 数	居場所を利用した生徒のうち教室復帰した生徒
不登校及び不登校傾向の生徒	1, 8 5 0	
居場所を利用した生徒	7 5 9	1 3 4
居場所のみを利用した生徒	3 2 2	—
居場所と教室等を併用して利用した生徒	4 3 7	1 3 4

(注) 校内の教室以外の居場所づくりを実施している学校の数値を掲げた。

(2) 担当教員への研修

区 分	内 容
令和5年 4月18日	○不登校児童生徒支援について ・教育機会確保法 ・教育機会の確保等に関する基本指針（文部科学省） ・不登校児童生徒への支援の在り方について（文部科学省） ・不登校未然防止及び不登校児童生徒支援の方策（名古屋市教育局委員会） ○校内の教室以外の居場所づくり事業について ・校内の教室以外の居場所づくりガイドライン ・参考資料（設置準備に向けて） ○担当教員の役割について ・生徒が安心して過ごせる居場所とするために ○情報交換
7月19日	○生徒理解について ・トラウマ インフォームド ケア（講義） ・協議（講義を受けて） ○情報交換
12月20日	○各担当者が情報共有したい内容を共有 ○居場所でのICT機器を活用した利用状況把握の事例を報告 ○グループごとに対話したい内容を決めて対話① ○グループごとに対話したい内容を決めて対話② ○全体での共有

8 現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容について

区 分	主な内容及び特色のある活動例
国際理解	【小・中・特別支援学校の内容】 ○国際留学生会館の外国人留学生を講師に招いた異文化理解教育 ○AETと外国語科の授業を中心とした交流活動（小・中学校全校） 【高等学校の内容】 ○グローバル・エデュケーション・センターでの語学研修（11校） ○海外修学旅行等での現地校との交流 【特色のある活動例】 ○中国出身の二胡演奏者との交流会の開催をし、生演奏を聴くとともに、中国の文化や歴史、伝統楽器を学ぶ学習
SDGs	【小・中・特別支援学校の内容】 ○未来の車づくりについて、SDGs達成の視点で考える社会科の授業 【高等学校の内容】 ○アルミニウムの精製実習を通して、原材料とリサイクル材料を比較するリサイクル啓発活動 【特色のある活動例】 ○SDGs達成の担い手づくり推進事業校（小学校2校、中学校1校、高等学校2校）の一つとして、児童・生徒が育てた野菜を子ども食堂へ届けたり、栽培した花を高齢者施設に届けたりする活動
人権	【小・中・特別支援学校の内容】 ○世界人権宣言を通して、自他の人権の大切さを学ぶ道徳の授業 ○視覚障害者を招き、講演を通して、視覚障害についての理解を深めるとともに、適切なコミュニケーションの取り方を考える学習 【高等学校の内容】 ○SNSにおける人権侵害についての理解を深める人権講演会 【特色のある活動例】 ○産婦人科医を招いたデートDV防止講座

区 分	主な内容及び特色のある活動例
防災	【小・中・特別支援学校の内容】 ○「なごやっ子防災ノート」を活用した地震、津波等災害に関する学習（全校） ○火災や大規模地震を想定した訓練（全校）、引き渡し訓練 【高等学校の内容】 ○被災経験のある方を招いた被災体験や減災に関する講演会 【特色のある活動例】 ○陸前高田市に派遣された名古屋市職員や陸前高田市の語り部を招いた東日本大震災の教訓を伝える講話（小学校25校、中学校7校）
がん	【小・中・特別支援学校の内容】 ○がんの予防（生活習慣病、喫煙との関わり）、発生の仕組み等を学習する体育科・保健体育科の授業（中学校全校） 【高等学校の内容】 ○がん患者の事例から、回復するための情報収集の仕方を考える保健体育科の授業（全校） 【特色のある活動例】 ○がん経験者を講師として招いた、がんについての理解を深める学習
金融	【小・中・特別支援学校の内容】 ○物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考える家庭科の授業（小・中学校全校） ○金融などの仕組みや働きを学ぶ社会科の授業（小・中学校全校） 【高等学校の内容】 ○消費者に関する問題を学ぶ公民科、家庭科の授業（全校） （例：消費者基本法、消費者契約法、多重債務問題等） 【特色のある活動例】 ○税務署職員や税理士を招いた税務講習会、年金セミナー

区 分	主な内容及び特色のある活動例
環境	【小・中・特別支援学校の内容】 ○日本の自然環境と国民生活との関わりを学習する社会科の授業（全校） ○エネルギー変換の技術を学ぶ技術・家庭科（技術分野）の授業（中学校全校） 【高等学校の内容】 ○環境科学調査センター職員を講師として招いた酸性雨についての実験等の学習 【特色のある活動例】 ○地域清掃などの環境美化活動やリサイクル工作など各学年で創意工夫された環境学習や自然観察、体験活動
主権者	【小・中・特別支援学校の内容】 ○国や地方公共団体等の政治の仕組みや政治参加の必要性を学ぶ社会科の授業（全校） ○選挙管理委員会と教育委員会、教員が参加して作成した「いちごのあした」を活用した公民的分野の学習（中・特別支援学校全校） 【高等学校の内容】 ○模擬投票 【特色のある活動例】 ○選挙管理委員会の職員を講師とした選挙出前トーク（小学校9校、中学校3校、特別支援学校3校、高等学校4校）

9 小学校における分団登校時の班編成について

(1) 編成者

(単位：校)

区 分	学 校	P T A	学校と P T A	地 域	分団班なし
校 数	2 3 7	2 1	1	1	1

(2) 提供した資料

(単位：校)

区 分	校 数
町内ごとに氏名・住所等を記載した名簿	1 9
班編成用に保護者が氏名・住所等を記入した文書	2
自宅の位置に氏名を記した地図	2

(3) 保護者の同意

(単位：校)

区 分	校 数
口頭	1 1
文書	8
同意を得ていない	4

(4) 班編成の方法

(単位：校)

区 分	校 数
P T Aや地域委員等が、町内ごとに各自で編成	2 1
入学説明会の際、町内ごとにその場で編成	2

10 学校における個人情報の紛失等について

(1) 令和4年度

区 分	概 要	種 類
令和4年 5月	市立学校において、クラスの児童に対し、児童の保護者より提出された体罰に関する調査の内容について、教室内で2度にわたって漏えいしたものの。	その他
7月	小学校において、児童個票ファイル28名分を紛失したものの。	紛失等
7月	小学校において、児童個票ファイル21名分を児童の机に置き忘れ、当該児童の自宅への持ち帰りがあったものの。	紛失等
7月	小学校において、児童個票ファイル33名分を紛失したものの。	紛失等
8月	小学校において、全校児童の遅刻・欠席一覧78名分を児童宛ての配付物に誤って入れたものの。	紛失等
9月	中学校において、緊急連絡先等の書類を誤って別人のものと併せて返却したものの。	誤返却
11月	小学校において、決裁文書として回議中であった12名分の就学援助の申請関係書類を紛失したものの。	紛失等
12月	小学校において、心臓検診診断票51名分を紛失したものの。	紛失等
令和5年 1月	小学校において、別人の情報を誤って記載した教育支援計画を渡したものの。	誤交付

(2) 令和5年度

区 分	概 要	種 類
令和5年 4月	小学校において、児童の健康診断票を紛失したもの。	紛失等
5月	特別支援学校において、高等部生徒8名分の個人情報を含んだ情報を保護者への連絡ツールに誤送信したもの。	誤送信
6月	小学校において、給食関係書類497名分及び就学援助関係書類3名分を紛失したもの。	紛失等
7月	中学校において、2名分の学校学生生徒旅客運賃割引証関係書類を紛失したもの。	紛失等
令和6年 3月	小学校において、保護者への連絡ツールにより、学級閉鎖のお知らせと誤って、児童26名が作成した学校生活の振り返りのデータを送信したもの。	誤送信

(3) 種類別

(単位：件)

区 分	4年度	5年度
紛失等	6	3
誤交付	1	—
誤返却	1	—
誤送信	—	2
その他	1	—
計	9	5

1 1 通学路の安全対策について

(1) 要望別件数

(単位：件)

区 分		4年度	5年度
公安委員会	信号機	3 9	3 9
	歩行者用信号機	3 1	3 8
	横断歩道	2 2 3	2 8 4
	路側帯	1 1	4
	駐車禁止	2 6	1 8
	一時停止	1 8 2	2 0 5
	通行禁止・一方通行	3 8	3 3
	その他	7 3	1 4 3
	小 計	6 2 3	7 6 4
道路管理者	歩道設置	4	6
	歩道拡幅	1	4
	ガードレール・パイプ	5 9	4 5
	通学路標識	2 8	3 0
	道路照明	3	4
	カーブミラー	1 5	1 6
	側溝ふたかけ	2 2	2 3
	路肩カラー舗装	2 8	4 5
	通学路路面標示	6 4	4 8
	区画線	6 5	1 9
	その他	2 3 4	2 7 4
	小 計	5 2 3	5 1 4
その他		3 7	3 5
計		1, 1 8 3	1, 3 1 3

(2) 判定結果

(単位：件)

区 分	4年度	5年度
A 判定年度内に実施予定（実施済みも含む）とされたもの	437	590
B 判定年度から3年以内に実施可能とされたもの	380	360
C 関係機関・地元等の調整、その他の理由で検討事項とされたもの	91	109
D 現状の道路形態、その他の理由で実施不可能とされたもの	219	205
E 通学路の変更を希望するもの	—	3
F その他（市管理以外の道路など）	56	46
計	1,183	1,313

(注) 通学路安全対策検討会における判定結果を掲げた。

1 2 登下校中の事故について

区 分	学 年	種 別	内 容
小 学 校	1 年	下校	横断歩道から数メートル離れた車道を横断しようとした際、走行してきた自動車と接触した。
	2 年	登校	歩道を歩いていた際、歩道を走行してきた自転車と接触した。
	2 年	下校	交差点で止まらずに駆け足で曲がろうとした時に、走行してきた自動車と接触した。
	2 年	下校	正門前で、保護者の停車していた自動車を見つけ道路に飛び出した際、走行してきた自動車と接触した。
	3 年	下校	歩道と車道が分かれていない道路で、後ろ向きに道路の中央へ飛び出した際、走行してきた自動車と接触した。
	3 年	下校	横断歩道を青信号で横断した際、赤信号で走行してきた自転車と接触した。
	4 年	登校	歩道と車道が分かれていない道路で、前方から走行してきた自動車が接触した。
	4 年	下校	信号のない交差点を横断しようとした際、走行してきた自動車と接触した。
中 学 校	1 年	下校	信号のない交差点の横断歩道を横断していた際、走行してきた自動車と接触した。
	2 年	下校	横断歩道を自転車で渡ろうとした際、走行してきた自動車と接触した。
	3 年	下校	T字路の横断歩道を横断中、後方から走行してきた自動車と接触した。
高等学校	2 年	下校	見通しの悪いT字路を自転車で一旦停止せず右折した際、走行してきた自動車と接触した。

1 3 市立幼稚園の取組みについて

区 分	実施園	内 容
預かり保育の拡充	第一幼稚園 第三幼稚園	○早朝保育の新設 7時30分から教育時間開始まで ○終了時間の延長 17時までを18時30分までに拡充 ○長期休業日 9時から17時までを7時30分から18時30分までに拡充
保育アプリの導入	全園	○欠席・お迎え変更等の保護者連絡 ○配布物の配信 ○保育ドキュメンテーションの作成・配信 ○アンケート機能 等
ナゴヤ・スクール・イノベーション事業	第二幼稚園 猪高幼稚園	○すすめるプロジェクト 「子ども中心の学び」の実現に向けて、先進事例の視察や外部講師を招いた研修を生かした保育の実践等
	春田幼稚園 常磐幼稚園	○つながるプロジェクト 幼稚園と小学校で一貫した考えのもとに教育活動を行うため、小学校と合同での職員研修や授業研究の実施等
	大幸幼稚園	○かいぜんプロジェクト 働きやすい職場環境の実現に向けて、学習会での意識改革を通じた組織づくりや業務改善の推進等

1 4 小学校における新たな運動・文化活動の実施にかかる 児童アンケートの結果について

(1) 5段階評価の割合と選んだ理由

(単位：％)

区 分		5 (楽しい)	4	3 (普通)	2	1 (楽しくない)
割合		62.3	21.5	12.3	3.0	0.9
選 ん だ 理 由	いろいろな種目があること	45.6	35.8	21.4	0.0	9.1
	一年間同じ種目をする	23.0	30.3	37.2	14.3	0.0
	練習の内容	41.5	29.5	32.4	25.7	45.5
	その他	17.1	18.1	19.3	68.6	45.5

(注) 選んだ理由は重複回答を含むため、合計は100％にならない。

(2) 各学年における5段階評価の平均と割合

区 分	平 均	5 (楽しい)	4	3 (普通)	2	1 (楽しくない)
		％	％	％	％	％
4年生	4.5	69.6	16.1	10.6	3.6	0.0
5年生	4.4	58.0	25.6	12.1	3.1	1.2
6年生	4.4	58.7	23.1	14.5	2.0	1.7

(注) 小数点第1位未満を四捨五入しているため、合計は100％にならない場合がある。

(3) 「今参加している種目のうちで好きになったものがありますか。」に対する回答結果

(単位：％)

区 分	ある	ない
4年生	90.4	9.6
5年生	86.2	13.8
6年生	86.9	13.1

(4) 「(上記質問で「ある」と答えた児童に) その種目をこれからも続けたいと思いますか。」に対する回答結果

(単位：％)

区 分	思う	やや思う	わからない (どちらでもない)	あまり 思わない	思わない
4年生	78.7	14.4	5.9	0.8	0.3
5年生	66.7	24.7	7.3	1.4	0.0
6年生	63.0	23.0	12.5	0.7	1.0

(注) 小数点第1位未満を四捨五入しているため、合計は100％にならない。

(5) 活動に参加して、「成長した」「よかった」「進化した」と思うところ（自由記述）

区 分	主な意見	回答数
参加種目の技能習得・向上、ルールを理解	ドリブルやシュートなど球技が上手になった	7 1 3
	歌や楽器が上手になった	
	ルールや技術などに関する知識が増えた	
他学年との交流	違う学年の児童と仲良くなれた	9 0
	上級生に教えてもらえた	
友達が出来た、友達と一緒に取り組める	普段話さない子と仲良くなれた	7 9
	さらに仲良くなれた	
活動が楽しい、だんだん楽しくなってきた	興味がなかったがだんだん楽しくなってきた	7 1
	みんなでやれるのが楽しい	
参加種目が好きになった	その種目が好きになった	4 1
	音楽全般が好きになった、興味を持つようになった	
体力や運動能力等の向上	運動神経が良くなった	2 2
	足が速くなった	
向上心や思考力の広がり	成長したいという思いが強くなった	1 5
	まわりを見て行動するようになった	
上記以外の肯定的意見	成長した	7 0
	活動があってよかった	
否定的意見	成長は得られなかった	2
	そんなにも	
無記入		7 7

1 5 図書館の個人貸出実績の推移について

(1) 貸出利用者数

(単位：人)

区 分		4年度	5年度
一般	建物館	1, 981, 518	1, 992, 967
	自動車図書館	21, 633	20, 680
	その他	694	1, 080
	小計	2, 003, 845	2, 014, 727
児童	建物館	528, 297	507, 583
	自動車図書館	5, 614	5, 049
	その他	563	374
	小計	534, 474	513, 006
計	建物館	2, 509, 815	2, 500, 550
	自動車図書館	27, 247	25, 729
	その他	1, 257	1, 454
	計	2, 538, 319	2, 527, 733

(注1) 建物館は、図書館に来館して貸出利用した延べ人数を掲げた。ただし、千種図書館及び中川図書館の利用者数を除く。

(注2) 児童とは、0～15歳の利用者のことをいう。

(2) 貸出冊数

(単位：冊)

区 分		4年度	5年度
一般書	建物館	4, 653, 653	4, 656, 407
	自動車図書館	97, 330	91, 068
	その他	1, 759	2, 052
	小計	4, 752, 742	4, 749, 527
児童書	建物館	3, 556, 748	3, 491, 925
	自動車図書館	55, 170	51, 008
	その他	3, 615	3, 502
	小計	3, 615, 533	3, 546, 435
計	建物館	8, 210, 401	8, 148, 332
	自動車図書館	152, 500	142, 076
	その他	5, 374	5, 554
	計	8, 368, 275	8, 295, 962

(注) 建物館は、図書館に来館した貸出利用者の延べ貸出冊数を掲げた。ただし、千種図書館及び中川図書館の貸出冊数を除く。

